

## 特別支援教育専修 矢野研究室のご紹介 教員：矢野 夏樹

### 教員についての基本情報

教員名	矢野夏樹
担当教科と分野	特別支援教育学
研究分野	インクルーシブ教育、肢体不自由者教育、心理尺度開発
担当授業	[共通教育] 特別の支援を必要とする多様な子どもの理解と支援 / [専門科目] 特別支援教育の心理・生理・病理概説、肢体不自由者の心理・生理・病理、肢体不自由者教育、ダイバーシティ教育実践研究ⅡA・ⅡB、インクルーシブ教育指導法Ⅰ、特別支援学校実践研究、特別支援学校教育実習、卒業研究Ⅰ・Ⅱ
授業についての一言	学生自ら調べる・考える・伝えるという活動を大切に、知識を覚えるだけでなく実践に活かすことを見越して教えています。
研究室ホームページ	特別支援教育専修 HP <a href="https://u-ryukyu-tokushi.jimdofree.com/">https://u-ryukyu-tokushi.jimdofree.com/</a>



### 研究の内容

特別支援教育を中心に、多様な子どもが共に学ぶことを目指すインクルーシブ教育や子どもたちの多様性を学校教育が受け入れ互いに対する理解や敬意を育むダイバーシティ教育などについても研究を行ってきました。また、学校現場で教員がインクルーシブ教育を実践していくための評価尺度の開発などに幅広く携わり、学校との連携による教育実践研究も行っています。

### これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

- ・ 外国籍児童受け入れのための学校チェックリストの作成
- ・ ASD（自閉スペクトラム症）児に対するピアサポートの効果
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大状況下における大学生へのピアサポートの適用可能性
- ・ 日本の学校教育における性教育実施の阻害要因の検討
- ・ 場面緘黙症児の実態把握のための IN-Child Record の適用可能性の検討

### 研究のキーワード

肢体不自由者教育、インクルーシブ教育、ダイバーシティ教育、評価尺度開発

### 研究室の様子

特別支援教育専修では、1年次から全体ゼミとして各研究室に参加し、卒業研究に対する認識を育てます。3年次からは本格的にテーマを決め、ゼミ内での発表や専修全体での構想発表などを通して、学生同士でも各研究の交流を図ります。4年次前期には、特別支援学校教育実習や教員採用試験などがあるため、3年次から卒業研究を大きく進め、自身の進路に向けて計画的に研究活動を行うことを推奨しています。1年次から学生同士が交流することによって、学年を超えて研究への協力や進路相談などがしやすい環境になっており、情報交換が活発な研究室になっています。